

### 課題解決にどう寄与するのか

**概要** ウォーターPPPは、施設を包括的に委託する手法で、運営権を含む手法のコンセツション方式のレベル4と、新しく設定された運営権を含まない管理・更新のレベル3.5がある。

**【質疑】** 緊急事態発生時の危機管理体制は。

**【答弁】** 受託者との取り決めの中で、管理体制と責任の所在について十分に担保できるように考える必要がある。

**【質疑】** 運営権とは具体的に何か。

**【答弁】** 管路を含んだ下水道施設等を運営して収益を得る権利であり、この運営権を与えることにより、受託者は安定的で自由度の高い運営が可能となり、また利用者に対しては、ニーズを反映した質の高いサービスを提供することが可能となる。

**【質疑】** 令和8年度内は方向性を決めない場合はどうなるのか。

**【答弁】** ウォーターPPPの導入が管路の改築工事の要件となっているが、国から交付金要件の詳細についてはまだ示されていない。要件化で事業に大きな影響が出ることは容易に予測される。

**【質疑】** 全障スポに向けて「障がいのある人もない人も心つたわる条例」の周知、広報は。

**【答弁】** 公共施設等にチラシを設置し、広く周知するとともに、LINE等のSNSなども活用していきたい。そのほか、話し言葉によるコミュニケーションが困難な方を対象としたコミュニケーション支援ボードを活用していく。また、市民や事業者が、障がいのある方の情報保障に対する理解を深めていただけるよう取り組みを進めていく。

**【質疑】** 物流拠点構想における自衛隊駐屯地の位置づけは。

**【答弁】** 目指すべき姿の可能性の一つに災害時に貢献できる物流拠点を挙げているが、駐屯地を特に位置付けてはいない。今後、物流拠点におけるヘリポートの整備や災害時の自衛隊による協力などにより、災害時に貢献できる物流拠点としての可能性については検討していきたい。

**【質疑】** 物流拠点構想を検討する上で自衛隊駐屯地が攻撃対象となることを念頭に置いた検討をすべきでは。

**【答弁】** 駐屯地の整備に関わらず、南部地域を物流拠点として発展させ、本市の経済の活性化や雇用の創出を図るための構想として、検討を進めていく。

下水道事業を将来に渡って安定的に継続するため、民間との関わり方を含めてどのような形がよいのかを検討していくことが必要であり、対象とする施設やエリアなどの事前検討や基礎情報を収集整理することを目的とする。



佐賀市下水浄化センター

### 条例の周知広報は

**概要** 本市の南部地域に交通インフラが集積しつつあるこの機会を好機と捉え、経済の活性化や雇用の創出を目的として、南部地域を物流拠点として発展させるための構想の策定を目指す。

**【質疑】** 物流拠点構想における自衛隊駐屯地の位置づけは。

**【答弁】** 目指すべき姿の可能性の一つに災害時に貢献できる物流拠点を挙げているが、駐屯地を特に位置付けてはいない。今後、物流拠点におけるヘリポートの整備や災害時の自衛隊による協力などにより、災害時に貢献できる物流拠点としての可能性については検討していきたい。

**【質疑】** 物流拠点構想を検討する上で自衛隊駐屯地が攻撃対象となることを念頭に置いた検討をすべきでは。

**【答弁】** 駐屯地の整備に関わらず、南部地域を物流拠点として発展させ、本市の経済の活性化や雇用の創出を図るための構想として、検討を進めていく。



コミュニケーション支援ボード  
出典：(公財)明治安田こころの健康財団HP

議案等質疑とは、議案等について、提出者（執行部）に不明点や疑問点を聞き、説明や所見を求めるものです。

2月定例会では、紙面の都合で掲載できなかった内容も多くありました。

ぜひ、動画配信でご覧ください。

